

バオバブの会 ニュースレター

通巻 19 号 (2011 年度 3 号) 2011 年 6 月 7 日発行



THE BAOBAB ASSOCIATION



セネガルの子どもたちに教育を！

このところの天候の動きには驚かされます。今年は 5 月下旬に梅雨が始まりました。観測史上 2 番目に早い梅雨入りだそうです。また、気温も湿度も日ごとに激しく変化しています。そのせいか、体調を崩されている方が多いようですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今回のニュースレターでは、イベント関連のお知らせと、セネガルへの支援報告をいたします。

セネガルでは、もう少しで雨季が始まります。セネガルの学校の学年末は、公式には 7 月 31 日と決められていますが、私たちが支援する学校があるような地方の農村地域では、雨が降り始めたら、ほとんどの子どもたちは学校に通えなくなります。屋根が壊れていたり、藁で作られた教室は使えなくなりますし、大雨のために通学が危険になったり、道路が通行不能になるからです。そして、多くの子どもたちは、家で、農作業の手伝いをしなければなりません。ですから、学校では、あとひと月足らずの間に学年末の行事を終わらせるよう、慌しくしているようです。

日本の私たちにはなかなか知ることのできない、セネガルの子どもたちの様々に困難な状況を、私たちの力で少しでも改善させることができるように、と願いながら、これからも、着実な支援活動を続けていきたいと思っております。

バオバブの会

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ
〒240-0052 横浜市保土ヶ谷区西谷町 993-35
TEL&FAX 045-373-0059

寄付振込先: 三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座 no. 1523673
ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215

「第三回 GOSPEL FOR PEACE」中止のお知らせ

先回のニューズレターに掲載しました、NGOゴスペル広場主催のチャリティー・コンサート、第三回 GOSPEL FOR PEACE は、会場の新宿文化センターが東日本大震災時に一部損壊し、その修復工事が7月末まで行われるため、中止となりました。

アフリカン・フェスタに続き、GOSPEL FOR PEACE も中止ということで、上半期には皆様とお会いできる機会がなくなり、大変に残念です。

が、ゴスペル広場さんからのご連絡によりますと、来年の GOSPEL FOR PEACE は既に会場を決定済み、とのことですので、バオバブの会としましても、来春、今年の方まで頑張っていきたいと思えます。

「よこはま国際フェスタ2011」開催発表

日時：2011年10月22日（土）
23日（日）
10：30～17：00

会場：象の鼻パークBゾーン 及び 波止場会館

バオバブの会は、例年通り参加の予定ですが、詳しくは次回のニューズレターでお知らせいたします。

多くの皆様とお会いできることを楽しみにしています。



1. アマディ・ジャロさんからの感謝のメール

アマディ・チェルノ・ジャロさんは、セネガルのファティック市から10キロほど東のンベラカジャオ地区にある、チャバ小学校の校長先生です。

かねてよりセネガルの障がいを持った子どもたちの厳しい状況に心を痛めていましたが、2008年、同地区の4つの学校に勤務する7人の先生と共に、AESEH (Amicale des Enseignants Souteneurs des Elèves Handicapés 障がい児童を支援する教師の会)を結成しました。以来、AESEHは、ジャロさんが会長をつとめています。

結成後、同地区にある19の小中学校で調査したところ、約60人の障がい児がいることがわかり、NGO ワールド・ビジョンの援助で、この子どもたちに、車椅子、松葉杖、学用品などを贈りました。「障がいがある子どもたちでも、充分、健常児に負けないでやっていく能力がある」ということを子どもたちの両親に理解させていく、というのが、ジャロさんのグループの“困難だが重要な活動ポイント”だそうです。

2009年の2月、バオバブの会は、JICAの研修で来日中のジャロさんと出会いました。

その後、運営委員会で話し合いを重ねた結果、2010年12月、ジャロさんのグループに、初の支援金、50,000円(287,433 Fcfa)を送りました。今後、ジャロさんのグループから提供していただく、具体的な活動内容や成果と課題などの情報を、バオバブの会が支援する4つの学校の教育活動にも役立てていきたいと思っています。

その後、ジャロさんから、感謝のメールと写真が届きました。

* * * * *

バオバブの会会長 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ 様

私たち、AESEHへのご支援に対し、心より感謝申し上げます。

いただいた**287,433 Fcfa**は、たくさん子どもたちだけでなく、保護者の皆さんにも大きな助けとなりました。

私たちはこのお金で学用品を買い、今年度、私たちが支援している、**61人**の子どもたちに贈りました。

学用品の贈呈式には、地域の教育委員会の代表、村長、CODEC(私が副会長を務める、地域の学校長のグループです)の会長、子どもたちの保護者が出席しました。チャバ小学校の演劇グループが式を盛り上げ、国立ラジオのファティック支局が取材にきました。

保護者の皆さんは大喜びで、このご支援に深く感謝していました。

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ様はじめ、バオバブの会に関わるすべての皆さま、本当にありがとうございました。

2011年2月19日

AESEH 会長 アマディ・チェルノ・ジャロ



♥ スピーチをするジャロさん



♥ 子どもたちに贈られた通学かばん
(写真提供：アマディ・ジャロさん)

2. ンジャゴ小学校へ教室完成のための支援金を送付

ンジャゴ小学校では、昨年より、学校、父兄、また地域の人々が力を出し合い、乾季にし
か使えず、雨季になる度に取り壊す藁教室を、コンクリート作りの教室に変えようと、教室
増設の工事をしてきましたが、資金不足のため、未完成のまま中止されていました。

このンジャゴの皆さんの自助努力は、バオバブの会にとって、大変に嬉しいものでした。
そこで、教室完成を支援することになり、6月1日、602,500Fcfa（日本円で約110,000円）
を送りました。

秋の新学年度初めには、コンクリート作りの教室が、全学年分、揃うことでしょう。

3. サーバシ・チャム小学校図書館の開館への準備

✂サーバシ・チャム小学校の図書館につきましては、かねてより、同地域で青年海外協力隊
として活動中の永守さんにお世話になってきました。昨年末、その永守さんを訪ねて、友人
で大学の図書館員の川邊さんが、セネガル旅行をされました。その際、お二人はサーバシ・
チャム小学校を訪問し、先生方と子どもたちに、本のカバーかけと図書カードの使い方など
のワークショップをしてくださいました。

✂バオバブの会では、4月2日、図書の補充用ということで、100,000円を送金しました。
540,369 Fcfa になりました。現在、購入した本に、カバーをかけたり、図書カード用のポケ
ットをつけたり、といった作業を進めているそうです。

✂図書館の建物は、完成して以来、教室として使われていましたが、特に外壁の傷みが目立
ってきました。そのため、開館前に外壁の補修とペンキ塗りをしたいので、支援して欲しいと
いう要望がありました。

検討した結果、6月1日に102,600 Fcfa（日本円で約19,000円）を送金しました。



♥ワークショップの様子です。（写真提供：川邊さん）